分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

高山市の観光に関する意識調査　高度分析事業　業務実施報告書

2026年3月9日　東洋大学　古屋秀樹

１．事業の目的

- 高山市を訪れる外国人旅行者の急速な増加による、**地域住民の日常の快適性への影響**が懸念される。
- 旅行者を積極的に迎え入れる**市民のマインドの醸成**が、高山の魅力度を維持する上でも重要である。

↓

- 「高山市の観光に関する意識調査」(R7年度)を用いた分析を実施し、
市民の観光に関わる意識を把握し、必要となる施策の立案・実施に繋げることを目的とする。

報告内容

パート1　観光客が訪れることによる、住民の生活環境に対する影響の把握　3～12頁

自由記述(質的データ)から市民が抱く観光への懸念や今後の方向性の全体像を可視化する。

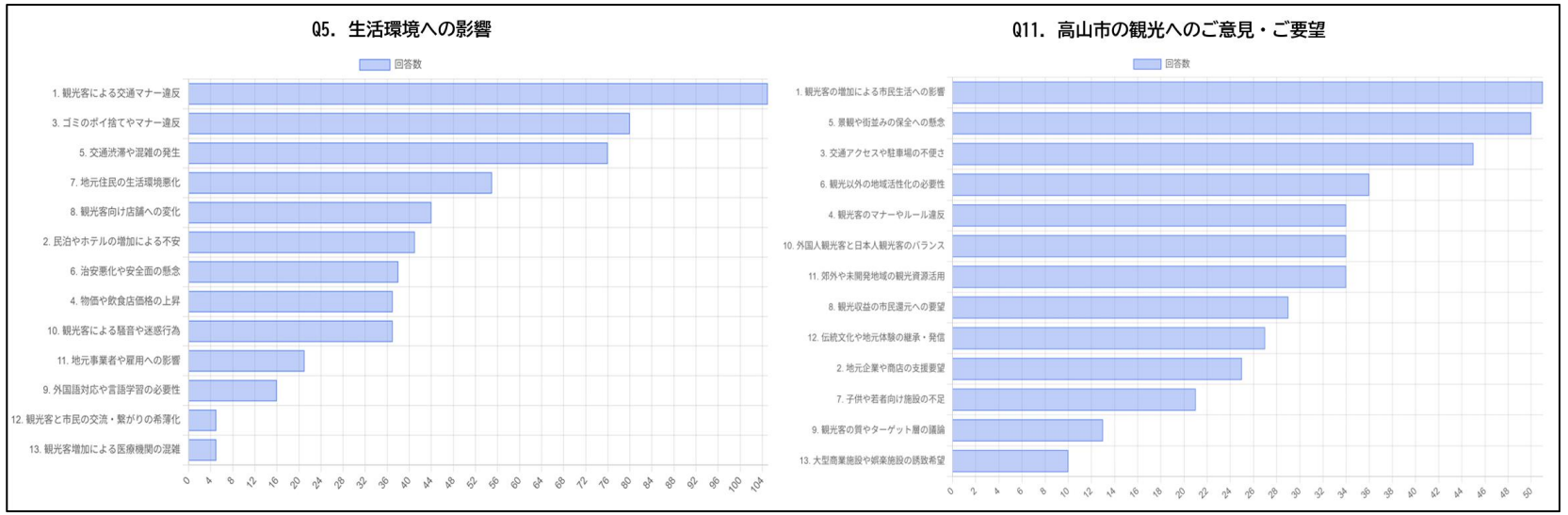
パート2　高山の観光に対する意見・要望　13～15頁

パート1で明らかになった要因が、観光客への『歓迎度』（量的データ）にどう影響しているのか、
特に受け入れに対する『積極層』と『消極層』でどう異なるのかを層別回帰モデルで解明する。

これにより、住民の観光客来訪に関わる理解を得るための施策の優先順位を明らかにする。

2. アンケート調査概要

- 調査対象者　高山市民（市公式ウェブサイトを経由したインターネット調査、有効回答数:**1165サンプル**、2025年8月実施）
- 主要調査項目
  - 対象者属性
  - 観光に対する市民の評価と実感
    - Q4 観光客が訪れることにより、あなたの生活環境にどのような影響があると感じていますか。
    - **Q5　Q4の項目以外で、観光客が訪れることにより、あなたの生活環境に対する影響があればお書きください。（自由記述）**
    - **Q11　高山の観光について、ご意見・ご要望がありましたらお書きください。（自由記述）**
  - 観光振興の恩恵への意識、観光振興への意識と地域に対する誇り・愛着、観光関連事業の実態



【Q5、Q11の主要結果】キーワードの判別から、交通利便性や経済効果といった具体的なメリットへの評価がある一方、混雑・迷惑行為・物価上昇といった生活上のマイナスの影響が大きく上回ることが分かった。(高山市報告書より抜粋)

➡次ページ以降では、統計分析を用いた定量的分析を行う。

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

Q5 観光客訪問による生活環境への影響 分析結果

設問5　Q4の項目以外で、観光客が訪れることにより、
あなたの生活環境に対する影響があればお書きください。

自由記述の回答者　**403名**
（記入率　403/1165＝**34.6%**）

- 抽出語の種類：1947（右図参照）
  - 「**増える**」は、観光客数に加えて、さまざまな事象の増加（マナー違反、駐車、ゴミ、民泊、渋滞など）と関連するため、文脈を把握する必要がある。
- 個人の回答で、同時に使用される抽出語(共起語)の傾向から、**多次元尺度構成法**により文脈を類推する。

  共起データから、**同時に使用される語句は近く**に、
  使用されない語句は遠くに付置する手法
  - これにより、単なる集計（「ゴミ」がXX件）では分からない、『市民がどのような文脈で（何と何を関連づけて）不満や要望を感じているか』という、意見の“構造”や“心理的な地図”を視覚的に明らかにすることが可能となる。
  - 出現頻度10回以上、
    5文以上に出現した抽出語を分析対象とした。

List

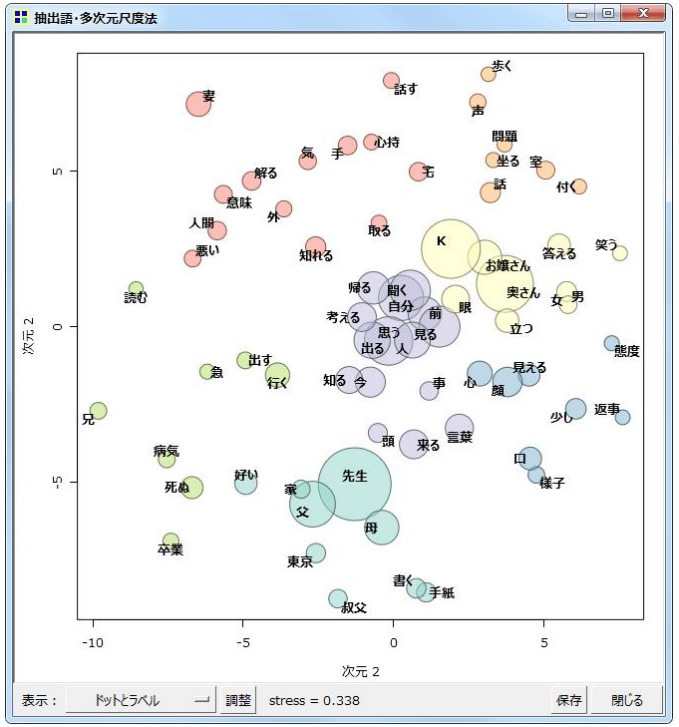
#	抽出語	品詞/活用	頻度
1	増える	動詞	92
2	観光	サ変名詞	83
3	多い	形容詞	79
4	人	名詞C	70
5	市民	名詞	60
6	マナー	名詞	59
7	悪い	形容詞	58
8	駐車	サ変名詞	47
9	ゴミ	名詞	46
10	民泊	サ変名詞	44
11	生活	サ変名詞	43
12	店	名詞C	42
13	感じる	動詞	41
14	運転	サ変名詞	40
15	住民	名詞	38
16	地元	名詞	38
17	迷惑	形容動詞	38
18	渋滞	サ変名詞	37
19	車	名詞C	36
20	守る	動詞	36
21	ホテル	名詞	35
22	来る	動詞	33
23	飲食	サ変名詞	32
24	街	名詞C	32
25	信号	名詞	32
26	道路	名詞	32
27	増加	サ変名詞	30
28	無視	サ変名詞	30

※赤線:ネガティブ事象が危惧されるキーワード

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

【参考】多次元尺度法

- 語句間の「類似度」を出現パターンから導出し、それに基づき散布図等で視覚化する手法。
  「似ているものは近くに、似ていないものは遠くに」配置する。
- 簡単なアルゴリズム
  - **単語間の類似度の算出**：個人の回答における出現パターンから類似度を算出します（Jaccard(ジャッカード)距離を利用）。
    同一個人で２つの単語のいずれかのみが出現するより、同時に出現する方が類似度が高いと算出されます。
  - **視覚化**：「類似度」から低次元空間（通常は2～3次元）にKruskal法によって配置・視覚化する。
    表示のためにストレス値（Stress）を用いて、実際の距離と配置された距離のズレを最小化する最適化計算を行う。
  - **似た単語グループの類型化**：算出した座標から、クラスター分析により類型化(クラス分け)を行った（単語を色分け）。



出典 https://khcoder.net/scr_r.html#mds

【分析結果】

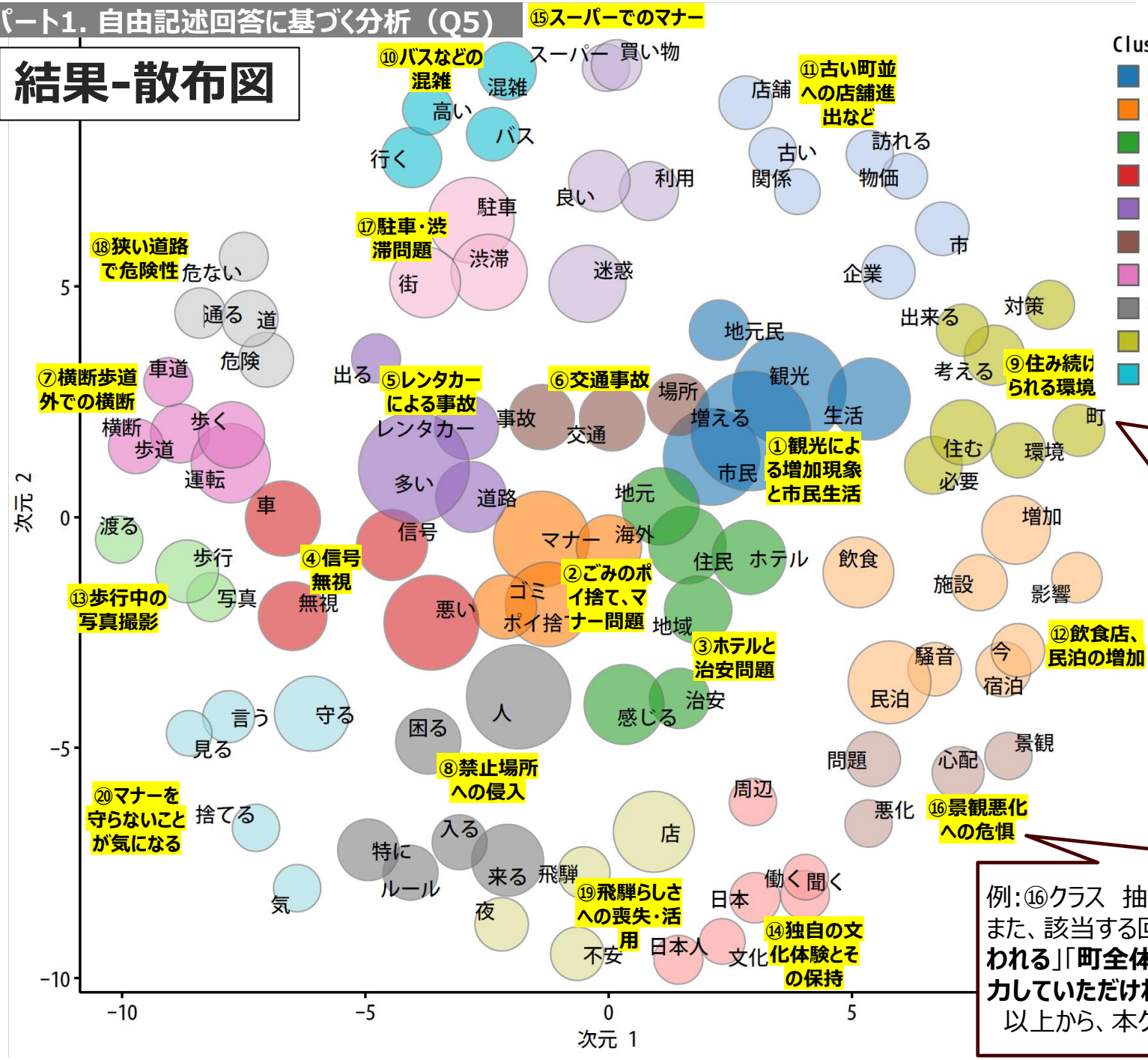
・MDSの出力：左のような散布図が導出。
・プロットの位置：類似度に従って、似たものは近くに、似ていないものは遠くに付置される。
・バブルの大きさ：「語」が出現する回数
・バブルの色：類似度が高いものを（左ケースでは）7クラスに分類したものを色分け。

【考察が必要な部分】

・図を考察しなければならない。そのために各軸の意味を解釈する必要がある。

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

結果-散布図



分析結果

- **各語句を共起の傾向から布置した**
- **円の大きさ**:出現頻度(5以上を対象)
- **20クラスに分割できると仮定し、分析者の判断でネーミングした（色別に表示、順番は便宜的）**

※次頁に、各クラスに含まれる主要な自由回答を例示する。

例:⑨クラス　抽出語として「**住む**」「**出来る**」「**環境**」「**町**」「**対策**」が含まれる。また、該当する回答文章として「**ある程度線引きをしないと高山住民が生きづらくなる面もしっかりと考えてもらいたい**」「**地元の人間が我慢して生活することはあってはならないと考えます**」があった。
以上から、本クラスを「**住み続けられる環境**」とネーミングした。

例:⑫クラス　抽出語として「**民泊**」「**飲食**」「**増加**」「**騒音**」「**影響**」が含まれる。また、該当する回答文章として「**空き家が民泊になっていて、知らない人がうろうろすることにはじめ驚いた**」「**宿泊や飲食店でも英語などの対応ができないにも関わらず受け入れてしまっている**」があった。
以上から、本クラスを「**飲食店、民泊の増加**」とネーミングした。

例:⑯クラス　抽出語として「**景観**」「**心配**」「**悪化**」「**問題**」が含まれる。また、該当する回答文章として「**店の出店により、外観や景観が損なわれる**」「**町全体についても、落ち着いた景観が維持されるように努力していただければ**」があった。
以上から、本クラスを「**景観悪化への危惧**」とネーミングした。

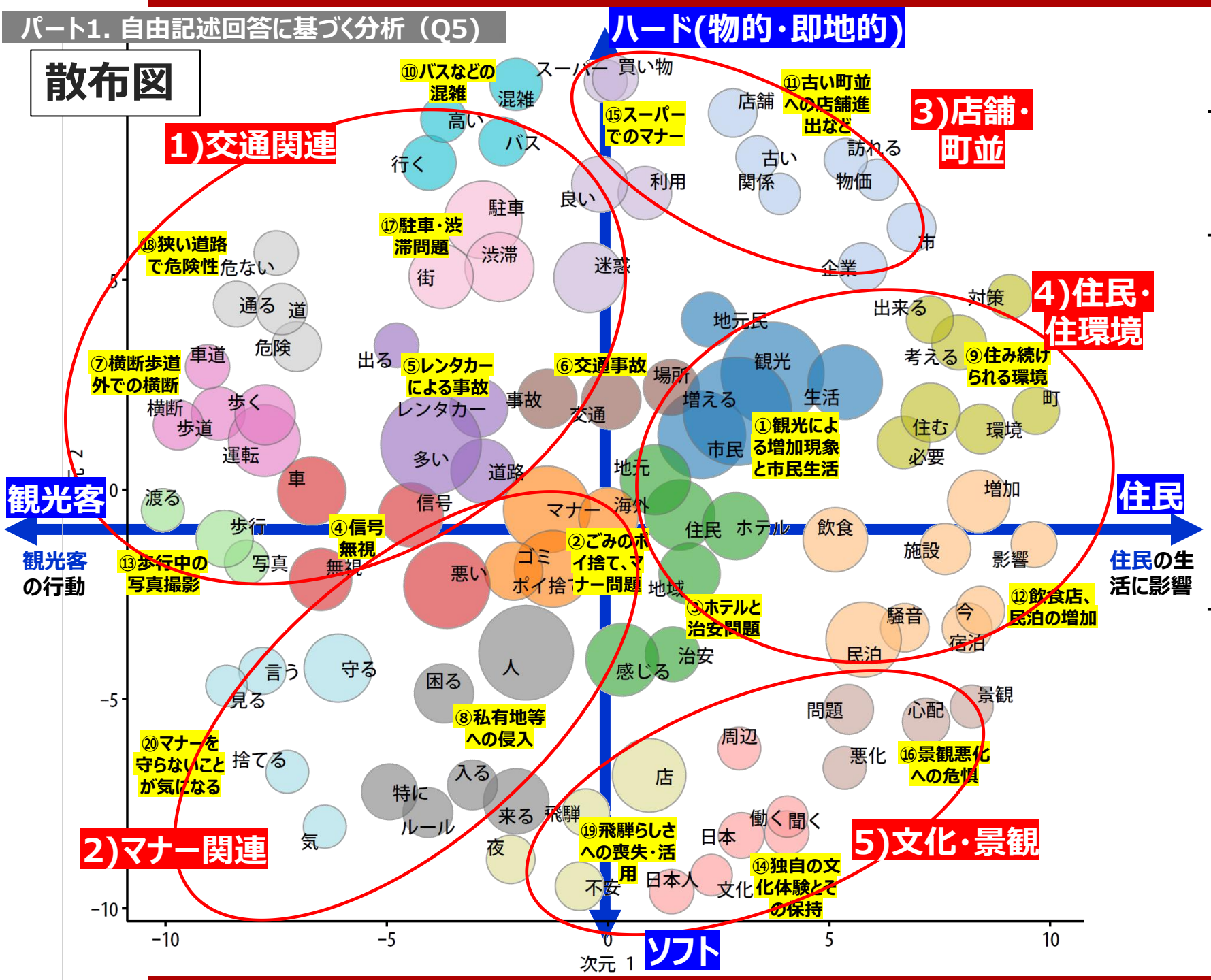
主要な自由回答例

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

クラス	具体的記述例
①観光による**増加現象と市民生活**	市民の生活域まで外国人**観光客が増**え、**マナーやルール**が守られず、被害を受けています.生活圏に**観光客が溢れかえっていることによるストレス**など.
②ごみの**ポイ捨て、マナー問題**	**ゴミのポイ捨て**、**交通ルール違反、私有地立ち入り、騒音**などが気になります.**交通ルール違反、ゴミのポイ捨て、騒音**等.
③**ホテルと治安**問題	**民泊**が増えており、**治安の悪化や火災、ゴミ処理等不安**.**治安の悪化**やごみ問題、周辺住民への騒音公害など、様々な問題が出ていると聞いています.
④**信号無視**	特に外国人の**信号無視等の交通ルール無視**が目立つ.観光地付近を車で走行している折、**信号無視**、ゴミを分からないと思って捨てている人も見かける.
⑤**レンタカー**による事故	**レンタカー**を利用する外国人の運転がとても危ない.**レンタカーにての来高**が増えて、交通渋滞や駐車問題が新たに市民生活の脅威になりつつあります.
⑥**交通事故**	**急ブレーキや急な車線変更**も多く、事故に遭いそうになることが多くなった.車道を歩道のように歩く**観光客と自動車の事故**が増えそう.
⑦**横断歩道外**での横断	**横断歩道**での突然の飛び出しや横断歩道がない所での飛び出しが多く運転する際にヒヤヒヤ.**信号がない所の横断**.
⑧私有地等への**侵入**	マナーの悪い観光客が、特にお店もない住宅地なのに、**私有地に入って来る**.あまり市民の**生活環境に入ってほしくない**.
⑨**住み続けられる**環境	**ある程度線引き**をしないと高山住民が生きづらくなる面もしっかりと考えてもらいたい.**地元の人間が我慢して生活**することはあってはならないと考えます.
⑩**バス**などの混雑	JR,高速バス等が**満席になりやすい**.大型バスが**通れるところを制限**してほしい.新穂高や平湯のバス路線に外国人が沢山乗車していて**乗りにくくなりました**.
⑪古い町並への**店舗進出**など	**古い町並も、お土産屋や食事処**などが多く、古い町並の良さが消えている.ホテルの建設が多く、古い町並という観光地としての**良い部分を減少**.
⑫**飲食店、民泊**の増加	空き家が民泊になっていて、**知らない人がうろうろ**することにはじめ驚いた.宿泊や飲食店でも**英語などの対応**ができないにも関わらず受け入れてしまっている.
⑬**歩行中**の写真撮影	**道路の真中での写真撮影**、当り前の信号無視、ゴミのポイ捨てなど.庭先へ入り写真を撮るような光景を見ると微笑ましいよりも、**恐ろしく感じる**.
⑭独自の**文化体験とその保持**	貴重な高山の**伝統文化が食い荒らされないよう**、法的にきちんと一線を.外国の文化(言葉、服装や振る舞い方)に**子どもたちが感じられるのはいいこと**.
⑮**スーパー**でのマナー	特に外国人だが、**スーパーや小売店などでのマナー**が悪すぎる.スーパーなどで騒がしい.スーパーへ団体で来店し混雑.
⑯**景観悪化**への危惧	地元企業じゃない店の出店により、**外観や景観が損なわれる**.町全体についても、**落ち着いた景観が維持**されるように努力していただければ.
⑰**駐車・渋滞**問題	**違法駐車**や運転マナーの悪い車があります.街中や図書館に行きたいが、駐車場が高くて、行きづらい.
⑱狭い道路で危険性	町中が渋滞したり、観光客が車道を歩いたりして危ないので、中心部は行かない.観光バスも**狭い道を無理に通ろうとすること**が多く危ないので,やめてほしい.
⑲**飛騨らしさの喪失・活用**	県外企業の進出も激しく**飛騨高山らしさが失われていく**.飛騨高山の魅力をより**深く理解してもらえる働きかけ**が必要です.
⑳マナーを守らないことが**気になる**	ゴミのポイ捨て、交通ルール違反、私有地立ち入り、騒音などが**気になります**.マナーの問題が**気になる**.特に外国人の交通マナー違反が**気になります**.

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

散布図



- クラス数(20)が多いため、**各ネーミングをもとに、5分類に集約した。**

- **散布図から、軸を解釈した**(左図参照)。
  - 横軸 左側は交通やマナー関連などの観光客の行動に起因する事項が、右側は住民や文化、町並といった住民の生活と関連する事項が多い。
    そこで、【**観光客⇔住民軸**】と設定した。
  - 縦軸 上側は、交通問題や店舗・など ハード(物的・即地的)に関連する事項が、下側は文化・景観やマナー関連などソフト的な事項に関連する。
    そこで、【**ハード⇔ソフト軸**】と命名した。

- **以上から、市民は「観光客訪問による生活環境への影響」を【観光客⇔住民軸】と【ハード⇔ソフト軸】から捉え、それは5つのテーマに分類できる。**
  1)交通関連、2)マナー関連
  3)店舗・町並
  4)住民・住環境、5)文化・景観

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

Q11　高山の観光についてのご意見･ご要望 分析結果

設問11　高山の観光について、ご意見･ご要望が
ありましたらお書きください。（自由記述）

自由記述の回答者　**358名**
（記入率　358/1165＝**30.7%**）

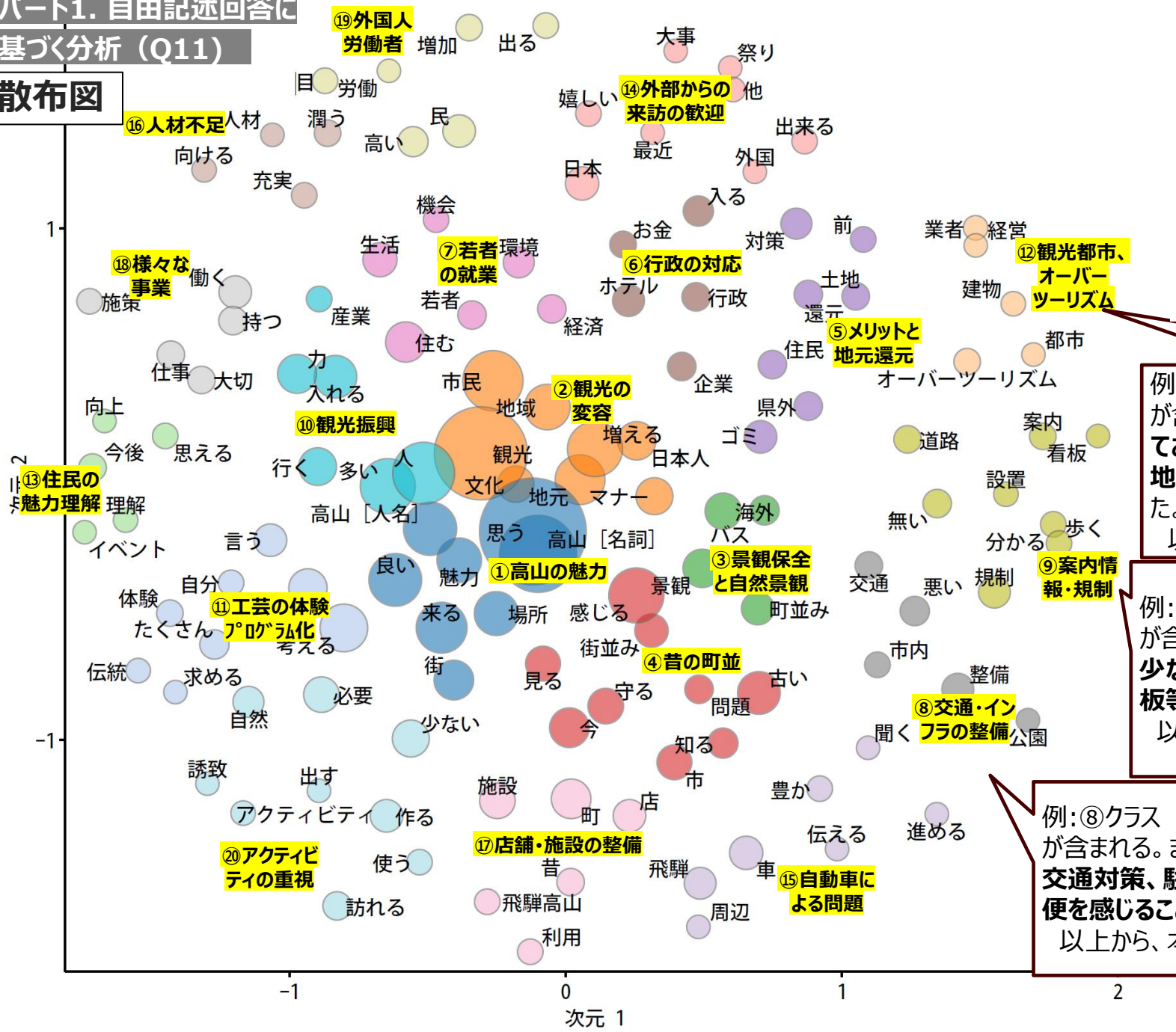
- 抽出語の種類：10,633（右図参照）
  - Q5より回答者数は45名減少しているが、抽出語数は約5.5倍に増加しており、観光に関する多様な意見を背景として長い回答を記述していると考えられる。
- **分析手法：Q5と同様**
  - 採用した分析手法：**多次元尺度構成法**
  - 共起データから、同時に使用される語句は近くに、使用されない語句は遠くにポジショニングして図示。
  - Q5に対して、広範な対象についての意見を確認。
  - 語句の出現頻度5回以上、10文以上出現した語句を分析対象とした。

List

#	抽出語	品詞/活用	頻度
1	思う	動詞	227
2	観光	サ変名詞	172
3	観光客	タグ	149
4	高山	名詞	117
5	高山市	タグ	95
6	人	名詞C	75
7	市民	名詞	71
8	観光地	タグ	70
9	感じる	動詞	59
10	増える	動詞	59
11	多い	形容詞	59
12	外国人	タグ	57
13	高山	人名	55
14	良い	形容詞	54
15	来る	動詞	50
16	地元	名詞	48
17	考える	動詞	44
18	地域	名詞	40
19	魅力	名詞	38
20	場所	名詞	37
21	古い	形容詞	35
22	入れる	動詞	35
23	観光業	タグ	34
24	住む	動詞	31
25	街	名詞C	30
26	今	副詞可能	30
27	駐車場	タグ	30
28	町	名詞C	30

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

散布図



分析結果

- **各語句を共起の傾向から布置した**
- **円の大きさ**：出現頻度(5以上を対象)
- **20クラスに分割できると仮定し、分析者の判断でネーミングした（色別に表示、順番は便宜的）**

※次頁に、各クラスに含まれる主要な自由回答を例示する。

例：⑫クラス　抽出語として「**オーバーツーリズム**」「**都市**」「**建物**」「**経営**」が含まれる。また、該当する回答文章として「**オーバーツーリズムとなっており住民としては地元を観光したいと思えない**」「**インバウンド成功地方都市の代表として、恥じないよう訪れる人を迎えたいです**」があった。

以上から、「**観光都市、オーバーツーリズム**」とネーミングした。

例：⑨クラス　抽出語として「**案内**」「**看板**」「**規制**」「**分かる**」「**無い**」が含まれる。また、該当する回答文章として「**街中の案内看板が少ないように思います**」「**幹線道路沿いも含めて建物や店舗看板等に更に規制を設けて欲しい**」があった。

以上から、本クラスを「**案内情報・規制**」とネーミングした。

例：⑧クラス　抽出語として「**交通**」「**公園**」「**整備**」「**悪い**」「**市内**」が含まれる。また、該当する回答文章として「**市民に迷惑かけない交通対策、駐車対策**」「**交通渋滞が起きており、日常生活に不便を感じることが多々ある**」があった。

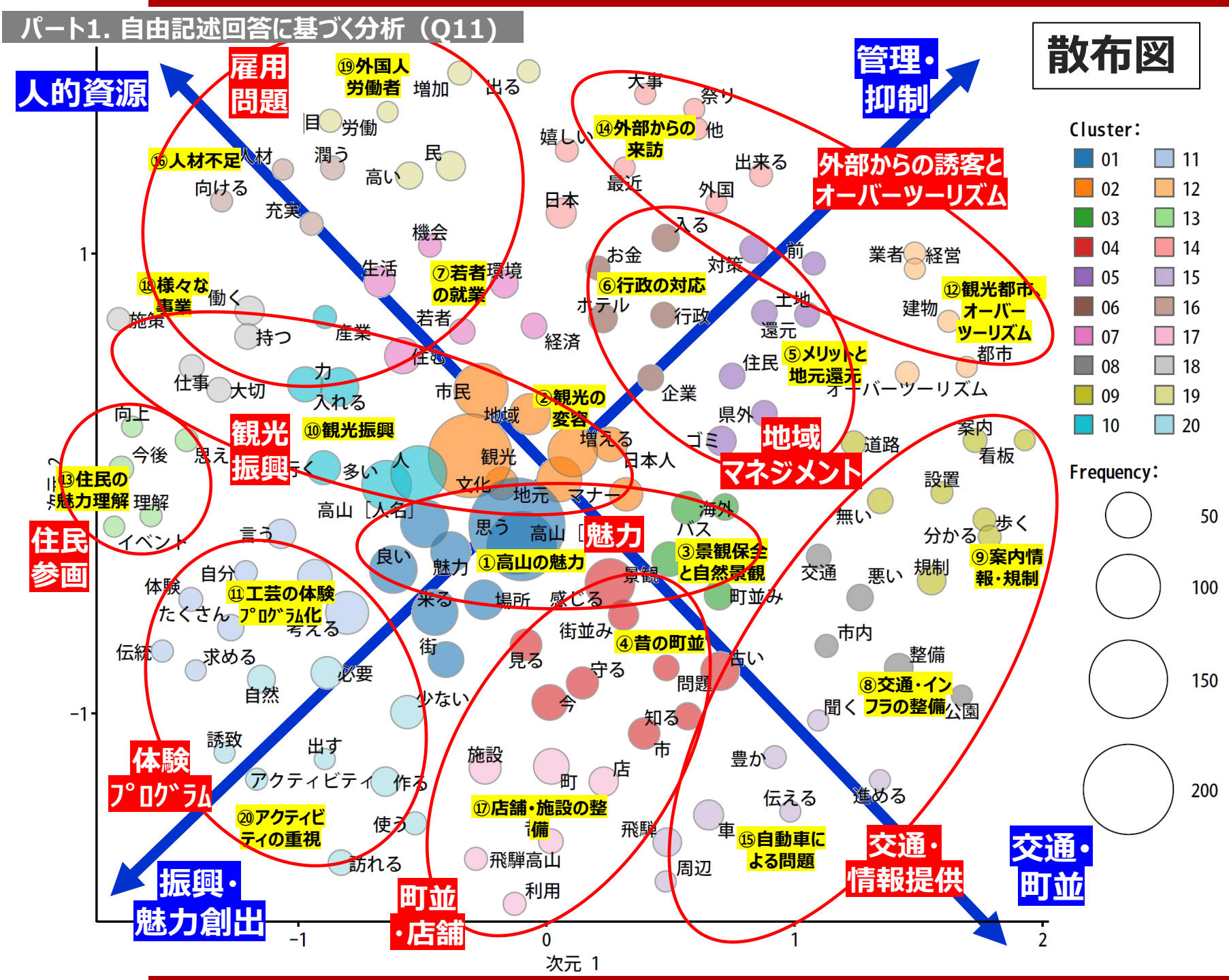
以上から、本クラスを「**交通・インフラの整備**」とネーミングした。

主要な自由回答例

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

クラス	具体的記述例
①高山の**魅力**	飛騨高山の自然景観など**魅力を未来に継承**.各地域（支所）の色があり特徴があるので、**その良さに気づき、魅力として引き伸ばす**.
②**観光の変容**	観光と市民生活を両立させるには、**互いにリスペクトする地域になるべき.**海外の方の視点から、**新たなニーズを知り、新しい産業や文化が生まれそう.**
③景観保全と**自然景観**	**自然や緑を求める海外の方が意外と多い**気がする.美しいこの自然景観を**いかに守っていくのか**という点も課題.
④**昔の町並**	景観や生活を**守るところまでをパッケージ**にして売り出して欲しい.景観を守るためにある程度の**建物の制限**をしてほしい.
⑤メリットと**地元還元**	**高山市民に還元**されるような仕組みにしてほしい.**観光に携わっていない市民**への還元は何か？
⑥**行政**の対応	行政が雪国としての**高山市の都市づくり**を進めてもらいたい.**観光客の質をコントロール**することが大事だと思います.**バランスを取る**のが行政の役目だと思う
⑦**若者の就業**	**観光の良さに加え、高山の魅力を感じて**、若者が住んでみたい町にしてほしいです.若者が**地元に残りたい**魅力のある高山市に.
⑧**交通・インフラの整備**	**市民に迷惑かけない**交通対策、駐車対策.**交通渋滞**が起きており、日常生活に不便を感じることが多々ある.
⑨**案内情報**・規制	街中の**案内看板が少ない**ように思います.幹線道路沿いも含めて**建物や店舗看板等に更に規制**を設けて欲しい.
⑩**観光振興**	**観光に来てもらう事はいい事**だと思うが、もともと住んでいる住民が住みにくいと感じることがあるとすれば、**観光に力を入れ過ぎるのもよく無い**と思う.
⑪**工芸**の体験**プログラム化**	文化の継承ができるよう**伝統工芸の仕事についてもっと深く体験**.伝統工芸や文化、**暮らしを"魅せる人材"、ガイドなどの"伝える人材"**の育成が必要.
⑫**観光都市、オーバーツーリズム**	**オーバーツーリズム**となっており住民としては地元を観光したいと思えない.インバウンド成功地方都市の代表として、**恥じないよう訪れる人を迎えたい**です.
⑬**住民の魅力理解**	飛騨高山の**魅力を大人も子供も理解して自分たちの地域に誇り**をもってもらいたい.**文化や歴史もある**ので、沢山の観光客が来てくれるのは理解出来ます.
⑭**外部からの来訪**	最近はよそから入ってきた店ばかりで怖くなります.**外国の方が多くいらっしゃる**のを拝見し、**防犯対策**など大丈夫なのか心配になります！
⑮**自動車**による問題	標識が分かりにくいのか、**一方通行を逆走する車**も多いし、路駐も多い.安川通りと国分寺通りを通る**車が多く、とても混雑**する.
⑯**人材不足**	**観光系人材の面的な雇用支援**を観光協会や市で行ってほしい.将来高山で観光の仕事についてくれる**人材の確保**も心配です.
⑰**店舗・施設**の整備	夕方5時あたりから**観光客向けの店が閉まっている**のは、観光客にとって残念だと思います.商業化した**テーマパークのような町**に成り下がってしまう.
⑱様々な事業	続いている観光地の原点をこれからも**永続していける、施策**をさぐるべき.**観光客の為の観光資源になってしまう事がない**ように、施策をして欲しいと思う.
⑲**外国人労働者**	国内の働き手が少ないいま、**外国人労働者も確実に増える**事が予測される.観光業に**従事する外国人労働者が多く**なっている.
⑳**アクティビティの重視**	**新しいスポット、自然を活かしたアクティビティ**等、また古い町並とか街中のものだけでなく、そういったことも含めた観光パンフレットがあるといい.

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

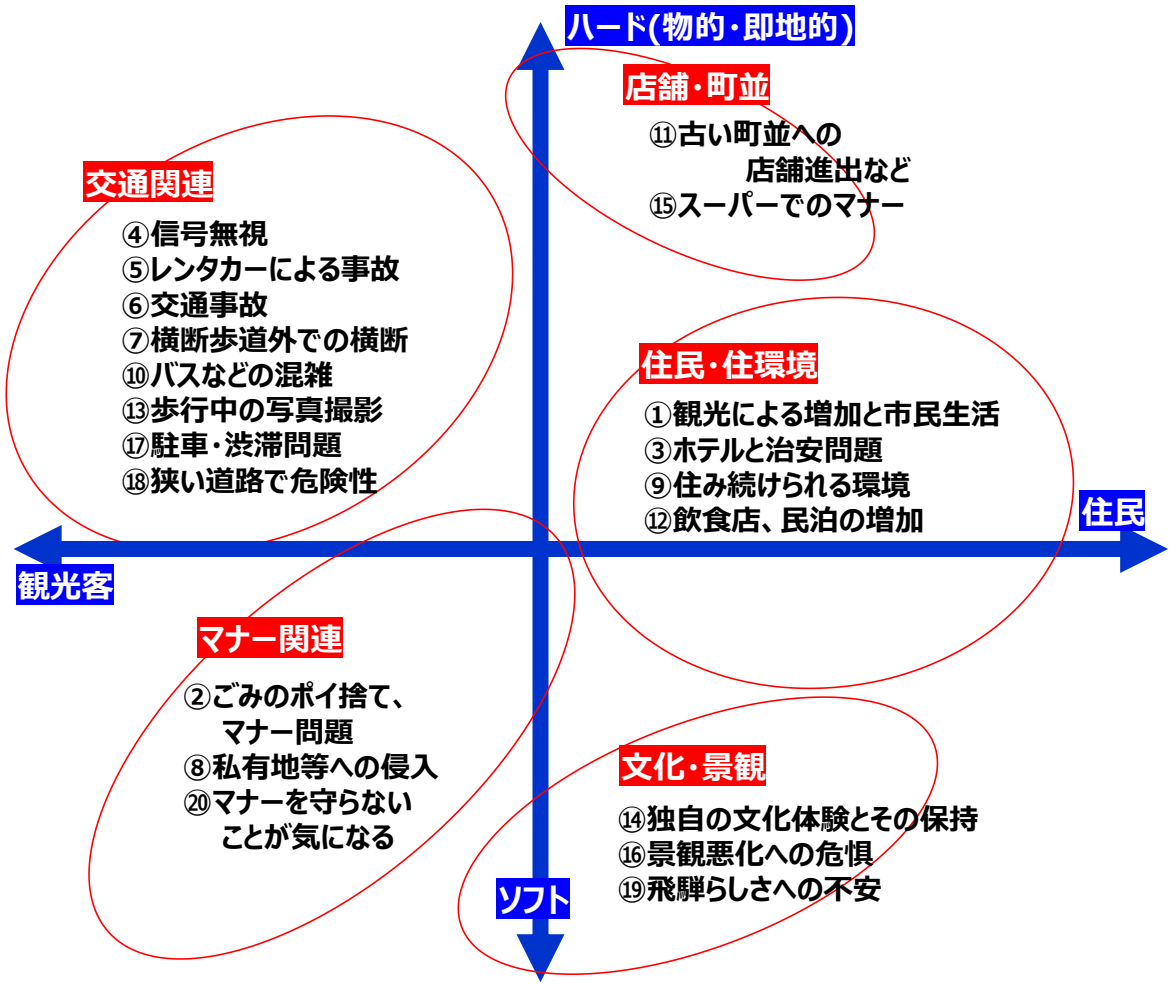


- クラス数(20)が多いため、**各ネーミングをもとに、9分類に集約した。**
- **散布図から、軸を解釈した**(左図参照)。
  - 右斜め上軸 右上は外部からの誘客とオーバーツーリズムが、左下は体験プログラムなど観光振興が付置されており、【**管理・抑制⇔振興・魅力創出軸**】と設定した。
  - 左斜め上軸 左上は雇用問題が、右下は交通・情報提供といったハード的要因が付置されることから、【**人的資源⇔交通・町並軸**】と命名した。

- **以上から、市民は「高山の観光」に対して【管理・抑制⇔振興・魅力創出軸】と【人的資源⇔交通・町並軸】から捉え、それは9つのテーマに分類できる。**
  1. 魅力
  2. 観光振興
  3. 地域マネジメント
  4. 外部からの誘客とオーバーツーリズム
  5. 交通・情報提供
  6. 町並・店舗
  7. 体験プログラム
  8. 住民参画
  9. 雇用問題

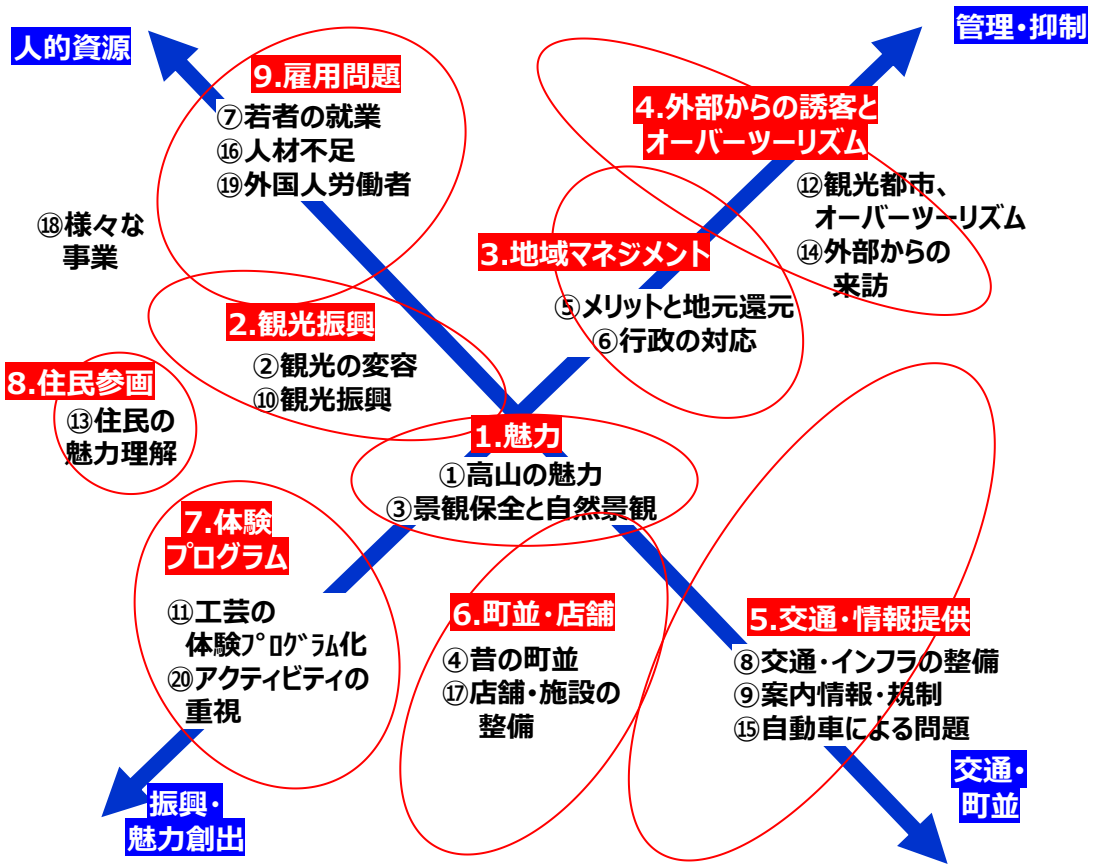
分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

Q5 観光客訪問による生活環境への影響　➡『外からの脅威』



- 市民の意見を2軸で整理した。
  【横軸 観光客⇔住民軸】×【縦軸 ハード⇔ソフト軸】
- 語句は、5つに分類できる。
- 市民は、『**観光客への直接的な影響**（短期的な不満解消）』と、
  『**地域（高山らしさ）への影響**』の両方の影響に言及している。

Q11 高山の観光についてのご意見・ご要望　➡『守るべき内なる価値』



- 市民の意見を2軸で整理した。
  【管理・抑制⇔振興・魅力創出軸】×【人的資源⇔交通・町並軸】
- 語句は、9つに分類できる。
- **今後の観光施策においては、この2つの軸（振興/管理、ハード/ソフト）のバランスを考慮した優先順位付けが求められる。**

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

- パート1では、自由記述から市民の懸念等の構造(**【管理・抑制⇔振興・魅力創出】**軸)を導出した。
  パート2では、観光客の『歓迎度』にどのような要因が影響しているのか、
  さらに旅行者の誘客に『積極層』と『消極層』で評価がどう異なるのかを深掘りする。
- 歓迎度への影響については、統計モデル(層別回帰モデル)を用いて分析を行った。

使用変数(いずれも5段階評価)と相関係数(黒文字→正の相関、**赤文字:相関係数がマイナス→負の相関**)

経済効果:大ほど歓迎度合い:高

		Q1	Q2	Q4 観光客来訪による**正の効果** ①	②	③	④	⑤	⑥	Q4 観光客来訪による負の効果 ⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	Q9	Q10
	Q1観光客来訪の「歓迎度」	1.00															
	Q2来訪により経済効果が発生	0.70	1.00														
Q4 観光客来訪による**正の効果**	①**文化の継承**	0.54	0.51	1.00													
	②**交通アクセス向上**	0.45	0.51	0.49	1.00												
	③**余暇の楽しみ増加**	0.52	0.54	0.58	0.53	1.00											
	④**買物環境の向上**	0.48	0.55	0.54	0.54	0.70	1.00										
	⑤**就労機会、仕事面の効果**	0.52	0.57	0.50	0.53	0.55	0.61	1.00									
	⑥**交流機会の増加**	0.49	0.53	0.48	0.47	0.57	0.52	0.57	1.00								
Q4 観光客来訪による**負の効果**	⑦**渋滞・混雑の発生**	0.25	0.20	0.24	0.13	0.23	0.16	0.14	0.17	1.00							
	⑧**マナー違反**	0.36	0.31	0.30	0.20	0.28	0.24	0.24	0.26	0.48	1.00						
	⑨**環境破壊**	0.38	0.36	0.29	0.24	0.29	0.27	0.26	0.28	0.41	0.69	1.00					
	⑩**街並み・景観の毀損**	0.44	0.37	0.36	0.24	0.34	0.35	0.29	0.27	0.37	0.54	0.64	1.00				
	⑪**治安の悪化**	0.46	0.36	0.33	0.26	0.33	0.29	0.31	0.31	0.41	0.61	0.62	0.67	1.00			
	⑫**物価の上昇**	0.29	0.22	0.22	0.16	0.25	0.21	0.22	0.21	0.35	0.38	0.38	0.39	0.44	1.00		
	Q9高山市に「誇り」を感じる	0.35	0.32	0.27	0.29	0.27	0.26	0.30	0.33	0.09	0.14	0.14	0.14	0.15	0.17	1.00	
	Q10観光評価に「誇り」を感じる	0.58	0.57	0.45	0.44	0.48	0.47	0.49	0.47	0.14	0.26	0.27	0.32	0.31	0.22	0.60	1.00

値が大きいほど正の効果が大

値が大きいほど負の効果が大

正の効果同士は正の相関(一方が増加→他方も増加)

正の効果と負の相関は負の相関(一方が増加→他方は減少)

負の効果同士は正の相関(一方が減少→他方も減少)

緑 :R≧ 0.58(正の相関)

赤 :R≦-0.34(負の相関)

「誇り」同士は正の相関

多くの変数間に相関を確認→分析では有意な変数のみを厳選する.

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

分析結果　観光客来訪の「歓迎度」への影響度を明らかにするために、層別回帰モデルを適用した。

- 被説明変数　Q1観光客来訪の「歓迎度」
- 説明変数　　Q2経済効果,Q4正の効果要因・負の効果要因, Q9・Q10「誇り」要因の各変数
- サンプルを「歓迎度」によって区分(4点以上:積極層(76%)、3点以下:消極層(24%))
- 層別回帰モデル　　歓迎度＝Σ（$\beta_i+\beta_{i,消極層}$）×説明変数$_i$　　※積極/消極層をプールして推定

係数：説明変数が歓迎度に与える影響

消極層の修正**係数**

係数の推定結果

※有意な変数のみ表記

5段階評価が1点変化した時の歓迎度の増減を示す

	1)積極層係数	**2)消極層係数**
Q2来訪により経済効果が発生	0.29	0.18
①文化の継承	0.04	0.10
③余暇の楽しみ増加	0.04	-0.01
⑥交流機会の増加	0.02	-0.03
⑪治安の悪化	-0.06	-0.15
Q10観光評価に「誇り」を感じる	0.07	有意ではない
定数項(平均値)	2.79	2.30
自由度調整済み決定係数	0.794	

赤字：積極層と比較した消極層の特長

経済効果への感度が積極層より低い

文化継承を重視する傾向

積極層は③、⑥をポジティブにとらえる。一方,消極層はネガティブに影響をする.

治安悪化への感度が高い

決定係数0.79から説明力の高いモデルと判断される

層別各説明変数の平均値

	1)積極層平均値	**2)消極層平均値**
Q2来訪により経済効果が発	4.36	3.01
①文化の継承	3.53	2.31
③余暇の楽しみ増加	3.35	2.11
⑥交流機会の増加	3.66	2.49
⑪治安の悪化	3.38	4.39
Q10観光評価に「誇り」を感	4.27	3.00
Q1観光客来訪の「歓迎度	4.50	2.53

積極層は、歓迎度が平均4.5と高く、影響要因では経済効果や「観光評価に誇り」が高い評価となる。
それに対して、消極層は歓迎度が平均2.5と低く、正の効果を示す変数も低いため、観光による効果を実感していない。一方、治安の悪化が4.39と高く、ネガティブな側面を感受しているといえる。

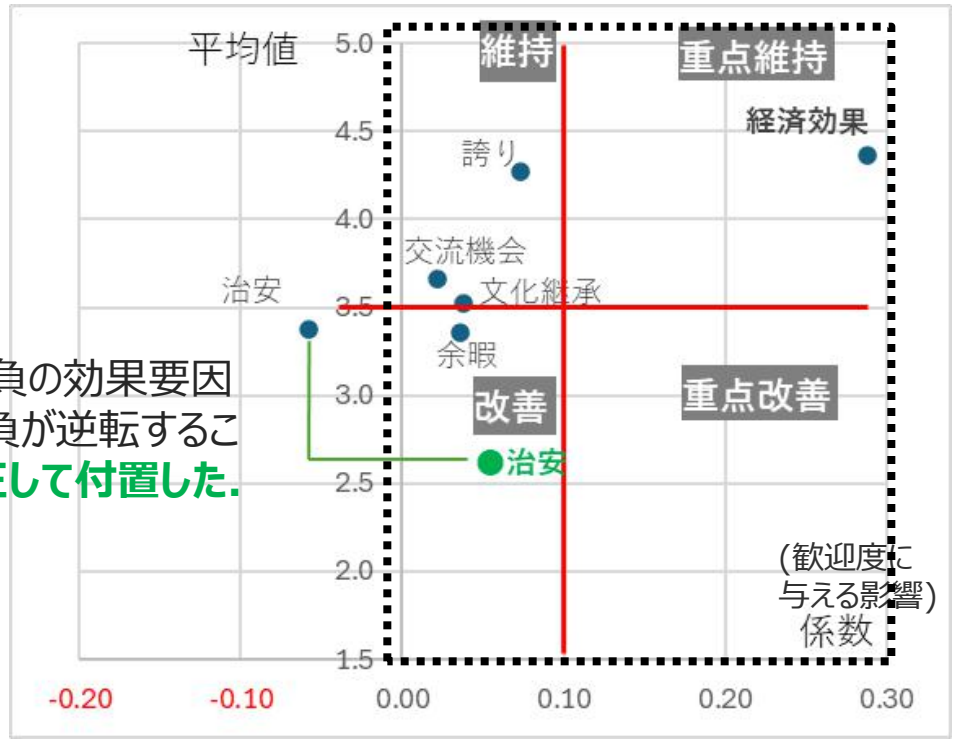
積極層は、経済効果の係数が大きいのに対して、消極層は**小さくなっている。**さらに、消極層では、**文化の継承の係数が大きいこと、治安の悪化の感度が高いことが特徴といえ、文化の継承や高山らしさの維持に強い懸念**をもっていると考えられる。
→積極/消極層に応じて施策の優先順位を**CSポートフォリオ**で明らかにする。

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

CSポートフォリオによって、優先順位の高い施策を抽出する。

※4象限に分割した中で**重点改善領域**、**重点維持**領域にプロットされる項目が重要施策と判断できる。

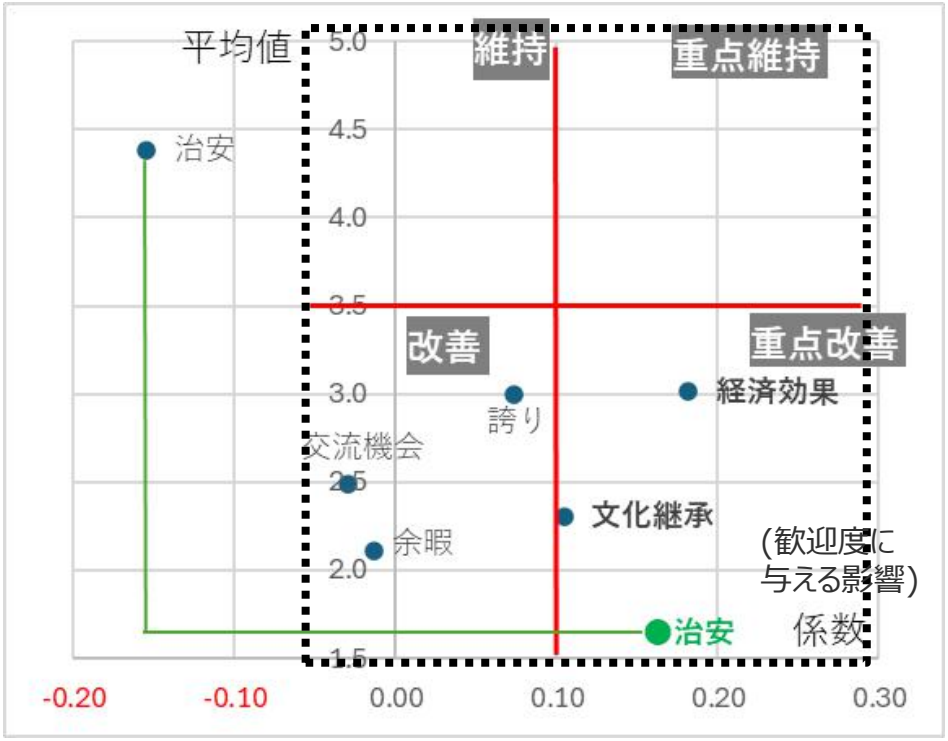
積極層の係数×平均値



“治安”は、負の効果要因のため、正負が逆転することから、**修正して付置した.**

- **重点維持**：**経済効果**
  消費額や域内調達率の上昇に向けた施策実施。
  経済・雇用効果、産業の位置づけを周知。
- **維持**：観光評価に「**誇り**」、**交流機会、文化継承**
- **改善**：**余暇、治安**

消極層の係数×平均値



- **重点改善**：**経済効果、治安、文化継承**
  経済効果：積極層と同様
  治安：民泊施設周辺の事象に加えて、相関の高い交通混雑やマナー問題への対処
  文化継承：独自の文化・景観保全、飛騨らしさの継承
- **改善**：観光評価に「**誇り**」、**交流機会、余暇**

重点改善領域から、**経済効果**、**文化継承**、**治安**が優先順位の高い取り組みといえる。

分析： 東洋大学国際観光学部 教授 古屋 秀樹 氏

まとめ

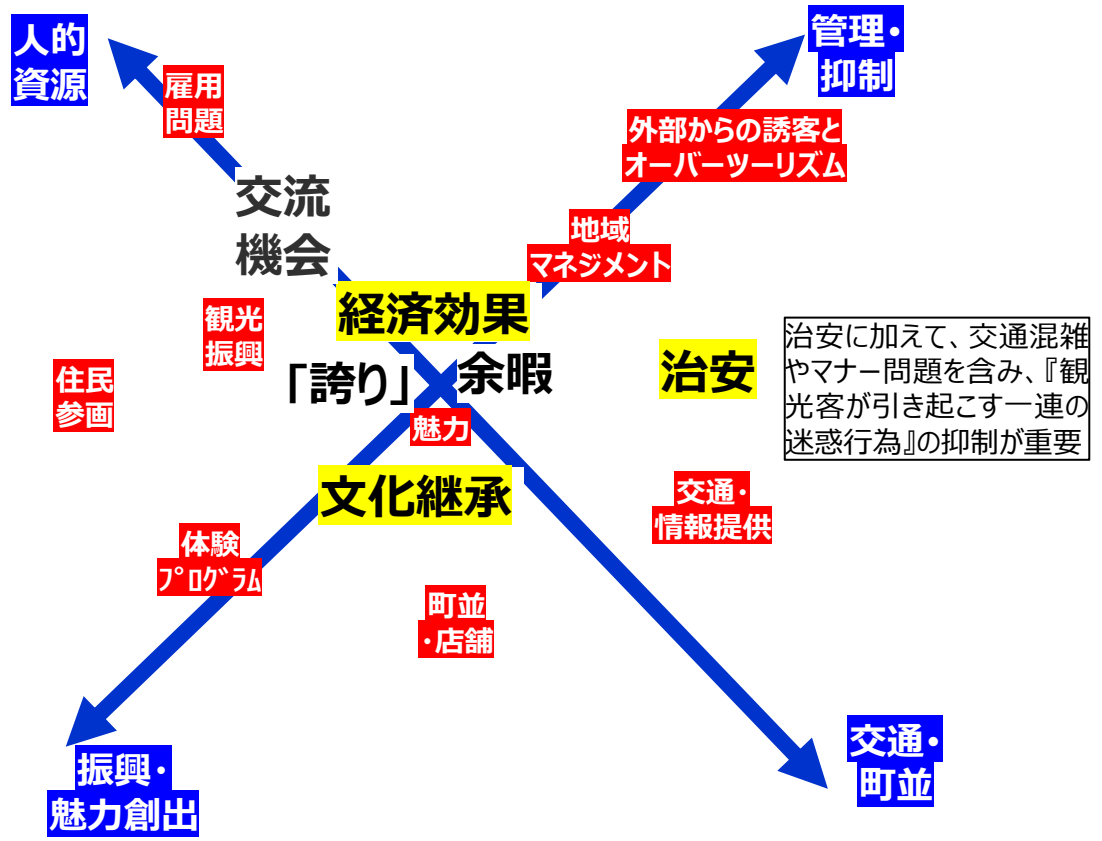
パート1. 自由記述回答に基づく分析

- 観光客来訪による影響では、『**観光客への直接的な影響**』と『**地域（高山らしさ）への影響**』の両方に言及していた。
- **高山の観光への意見**から、**9大分類**ならびに【管理・抑制⇔振興・魅力創出軸】×【人的資源⇔交通・町並軸】が抽出された(右図)。

パート2. 施策の優先順位付けについて

- 観光客来訪の「歓迎度」への影響度をもとに、検討を行った。
- 観光客歓迎の積極層では、下記のような順位付けとなった。
  - 重点維持：**経済効果**
  - 維持：**観光評価に「誇り」、交流機会、文化継承**
  - 改善：**余暇、治安**
- 消極層
  - 重点改善：**経済効果**、**治安**、**文化継承**
  - 改善：**観光評価に「誇り」、交流機会、余暇**

Q11 高山の観光についての意見 ➡『守るべき内なる価値』



治安に加えて、交通混雑やマナー問題を含み、『観光客が引き起こす一連の迷惑行為』の抑制が重要

以上から、優先順位の高い施策として下記が抽出された。
1. 経済効果の増大と市民への『見える化』(市報・HPによる経済効果の周知など)の実施。
2. 治安問題、文化継承への手厚い対応を実施していく。